

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## 操作のしくみと表示の見方

①ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

**時刻・カレンダーモード**

(曜日の見方)

SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土

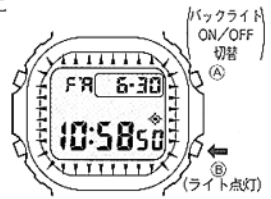
★ELバックライトON/OFF切り替え  
 ②ボタンを1~2秒間押し続けることに確認音が鳴り、ELバックライトのON(点灯)/OFFが切り替わります。  
 ※「★ELバックライトの自動発光」参照

## ■表示照明用 E L バックライトに

どのモードのときでも、②ボタンを1回押すと文字板が約2秒間発光します。

※発光しているときにもう一度②ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。

※ライトOFF(点灯)でも②ボタンを押すと発光します。



## ★ELバックライトの自動発光

ライトON(点灯)のときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。

※電子音報音(発光)のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

## ＜ELバックライトの発光に関するご注意＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがあります。これはELパネルが発光する際の振動音であり、異常ではありません。

(※各機能を使用した後に②ボタンを押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。)

**アラームモード**

月・日が指定できるアラーム時刻セット、および毎正時の時報セットができます。

アラーム時刻

**タイマーモード**

1秒単位で、最大24時間までの減算計測ができます。

タイマー時間

**ストップウォッチモード**

1/100秒単位(1時間を超えると1秒単位)で23時間59分59秒(24時間計)まで計測できます。

計測値

## 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

### ■秒の合わせ方 ……30秒以内の遅れ/進みの修正

月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのときに、

③ボタンを押します  
→「秒」が点滅します。



(2)時報に合わせて、  
④ボタンを押します

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、「00」秒になります。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



(3)秒合わせが終わりましたら、

③ボタンを押して点滅を止めます



※秒(時刻・カレンダー)セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

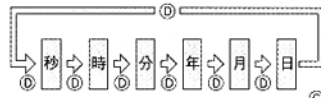
### ■時刻・カレンダーの合わせ方

(1)時刻・カレンダーモードのときに、

③ボタンを押します  
→「秒」が点滅します。

(2)セット箇所を選ぶ

④ボタンを押します  
①ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。



(3)点滅箇所のセット

④ボタンを押します  
→④ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。  
※押し続けると早く進みます。

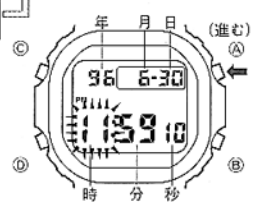
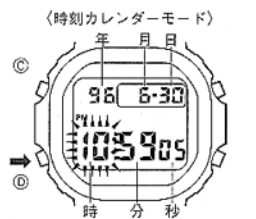
★12/24時間制表示切り替え

表示が点滅しているときに、②ボタンを押すごとに12時間制表示(午前/午後"PM")と24時間制表示(24H)とが切り替わります。

上記(2)~(3)の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。  
 ※「時」のセットのとき午前/午後(PM)、24時間制にご注意ください。  
 ※「年」は1995~2039年までセットできます。  
 なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。

(4)セットが終わりましたら、

③ボタンを押して点滅を止めます



印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときに(C)ボタンを1回押すと、アラームモードになります。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

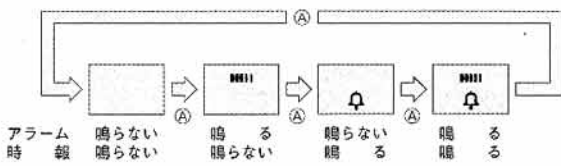
### ■アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

(A)ボタンを押します

→(A)ボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替わります。

※アラーム時刻をセットすると「■■■■」マークが点灯し、自動的にアラームONとなります。  
(「■アラーム時刻のセット」参照)



### ■アラーム・時報の報知方法

●アラームONのとき  
セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

●時報ONのとき  
毎正時(00分)になると、「ビッピッ」と電子音が鳴ります。

※このとき、いずれの場合でも、ELバックライトON(◆点灯)にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



### ■鳴っている電子音を止めるには

アラーム(時報)音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、(A)(B)(C)(D)ボタンのうち、いずれか1つを押します。

### ■アラーム時刻のセット

(1)アラームモードのときに、

(C)ボタンを押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。

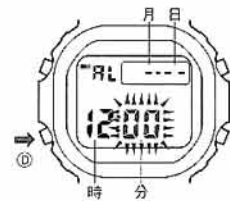
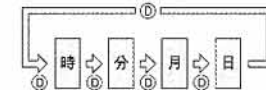
※このとき「■■■■」が点灯し、アラームONとなります。



(2)セット箇所を選ぶ

(D)ボタンを押します

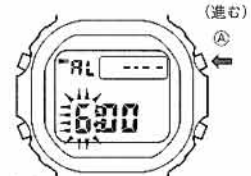
(D)ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3)点滅箇所のセット

(A)ボタンを押します

→(A)ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。  
※押し続けると早く進みます。



- 「時」のセットのとき、午前/午後「PM」にご注意ください。
- 時刻を24時間制「24H」にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。
- 「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

毎日鳴らしたいとき	⇒ 「時・分」のみセット
1ヵ月間毎日鳴らしたいとき	⇒ 「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らしたいとき	⇒ 「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らしたいとき	⇒ 「月・日・時・分」すべてセット

(4)セット後、点滅を止めるには、

(C)ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

## ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに(D)ボタンを3回押すと、ストップウォッチモードになります。

ストップウォッチは23時間59分59秒(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

### ■計測のしかた

ストップウォッチモードのときに、

(A)ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

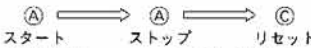
★計測中に(C)ボタンを押すと、スプリット計測となります。もう一度(C)ボタンを押すとスプリットが解除されます。(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)

★計測終了後(C)ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

※(A)・(C)ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。

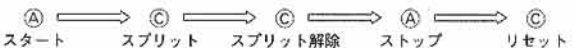


### ●通常計測

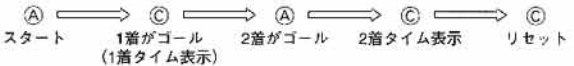


※積算計測…ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(A)ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き継ぎ計測を始めます。

### ●スプリットタイム(途中経過時間)の計測



### ●1・2着同時計測



印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## タイマーの使い方

時刻・カレンダーモードのときに⑩ボタンを2回押しすと、タイマーモードになります。

タイマーは、1秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

### ■タイマーの使い方

タイマーモードのときに、

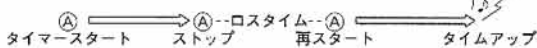
⑨ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

→減算計測は1秒単位で行ないます。

★⑩ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。

★ロスタイムがあるときは

減算計測中、⑨ボタンでストップ後、もう一度⑨ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。



### ■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間\*電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

\* タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

※このとき、ELバックライトON (点灯) しておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



### ■タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

- リピータイマー (繰り返し計測)  
タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。
- オートリピータイマー (自動繰り返し計測) (“AUTO” 点灯)  
タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

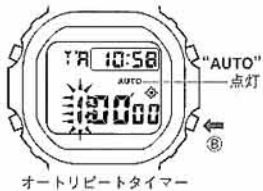
### ★タイマー方法の選び方

タイマー時間セットのときに、

⑩ボタンを押します

→⑩ボタンを押すごとに“AUTO” が点灯/不点灯を繰り返します。

“AUTO” が不点灯のときはリピータイマー、“AUTO” が点灯しているときはオートリピータイマーとなります。



### ■鳴っている電子音を止めるには

タイムアップ報知の電子音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、タイマーモードのときに⑨⑩⑪ボタンのうち、いずれか1つを押します。

### ■タイマー時間のセット

タイマー時間は「1秒 (0:00'01)」から「24時間 (0:00'00)」まで、1秒単位でセットできます。

(1)タイマーモードのときに、

⑪ボタンを押します

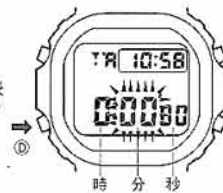
→タイマー時間の「時」が点滅します。



(2)セット箇所を選ぶ

⑫ボタンを押します

⑫ボタンを押すごとにセット箇所 (点滅表示) が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3)点滅箇所のセット

⑬ボタンを押します

→⑬ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。  
※押し続けると早く進みます。



★表示が点滅しているときに⑩ボタンを押すと、タイマー方法 (リピータイマー/オートリピータイマー) が選べます。  
(詳しくは左記「●タイマー方法を選ぶ」参照)



(4)セット後、点滅を止めるには

⑭ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。